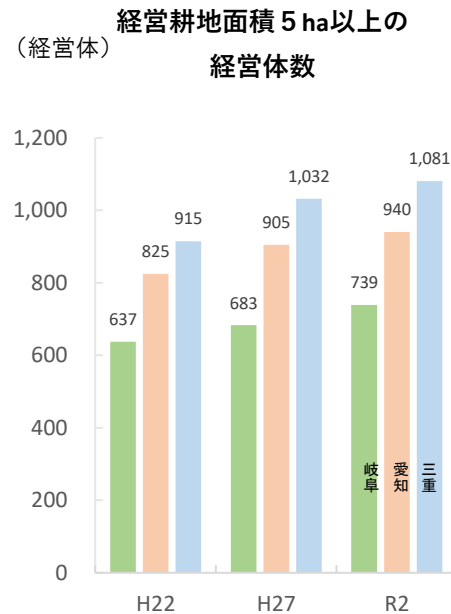
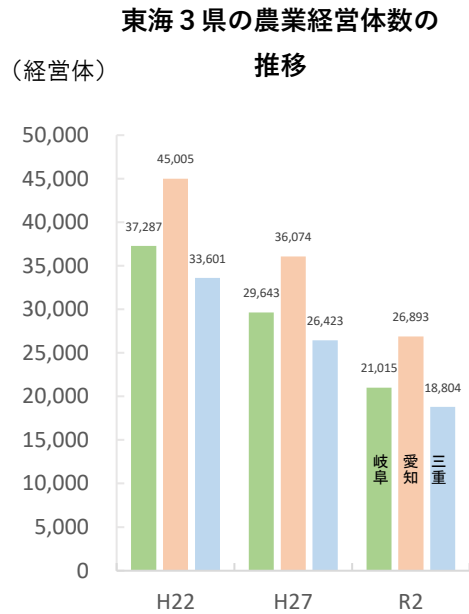
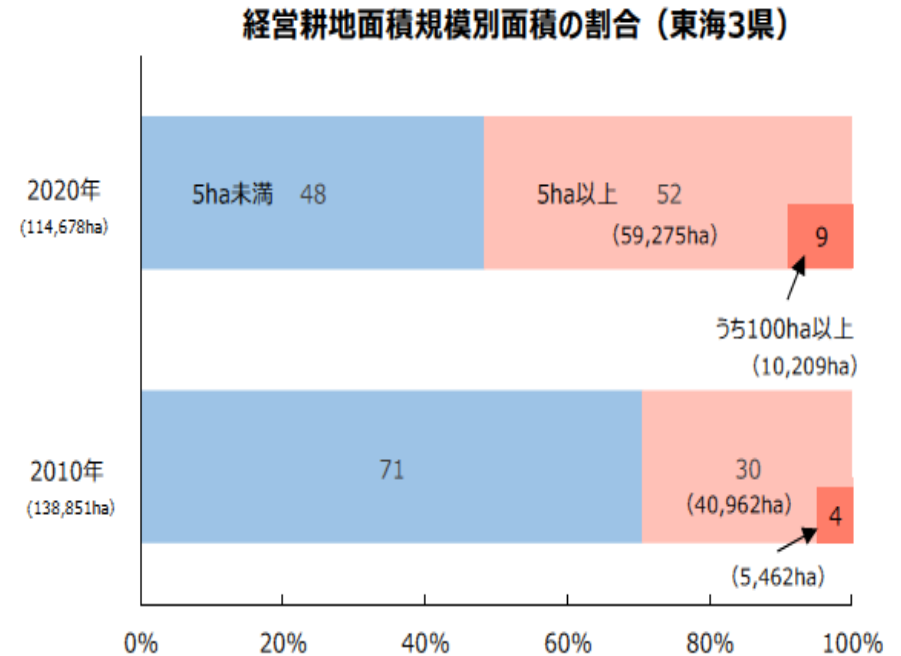


## (2) 経営耕地面積5ha以上の経営体の動向①

- 東海3県の農業経営体数の推移は、平成22年と比較すると減少傾向にあります。一方で経営耕地面積が5ha以上の経営体数は増加しています。
- 東海3県の経営耕地面積5ha以上の経営体の経営耕地面積が占める割合をみると、平成22年は全体の3割であったのに対し、2020年は5割以上を占めるまで拡大しています。



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」



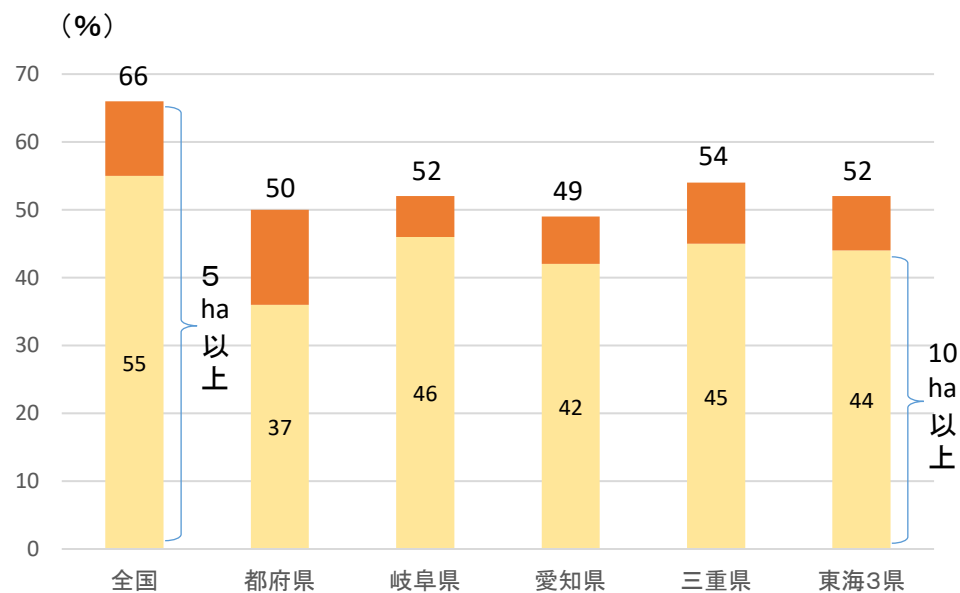
注：ラウンドにより数値と内訳が一致しない場合がある。

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

## (2) 経営耕地面積5ha以上の経営体の動向②

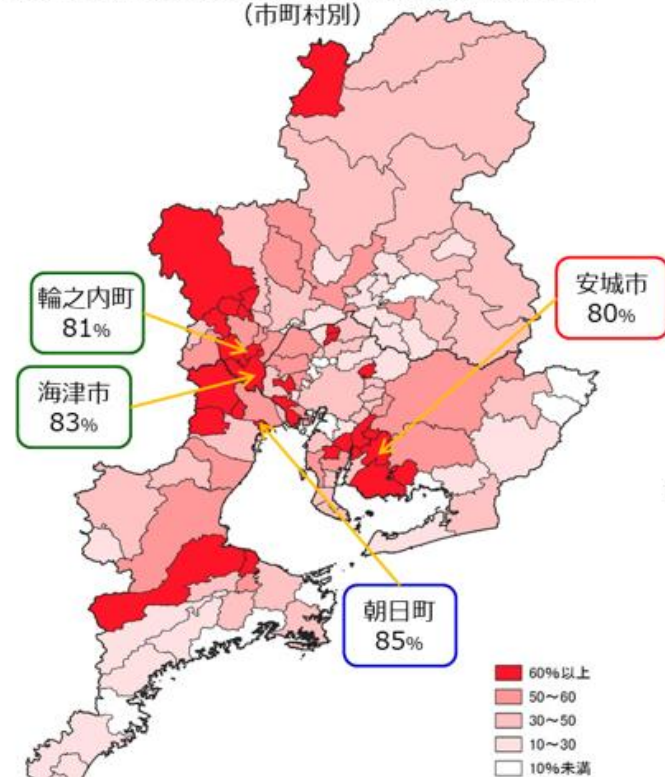
- 5ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合では、東海3県とも都府県平均とほぼ同水準ですが10ha以上についてみると、3県とも都府県平均を上回っています。
- 市町村の状況を見ると、三重県朝日町が最も集積割合が高く、次いで岐阜県海津市、輪之内町、愛知県安城市の順となっています。

5ha及び10ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

< 5ha以上耕作する農業経営体の面積集積割合 >  
(市町村別)



資料：農林水産省「農林業センサス」